



amagami fanbook

はっぴいえんと♡

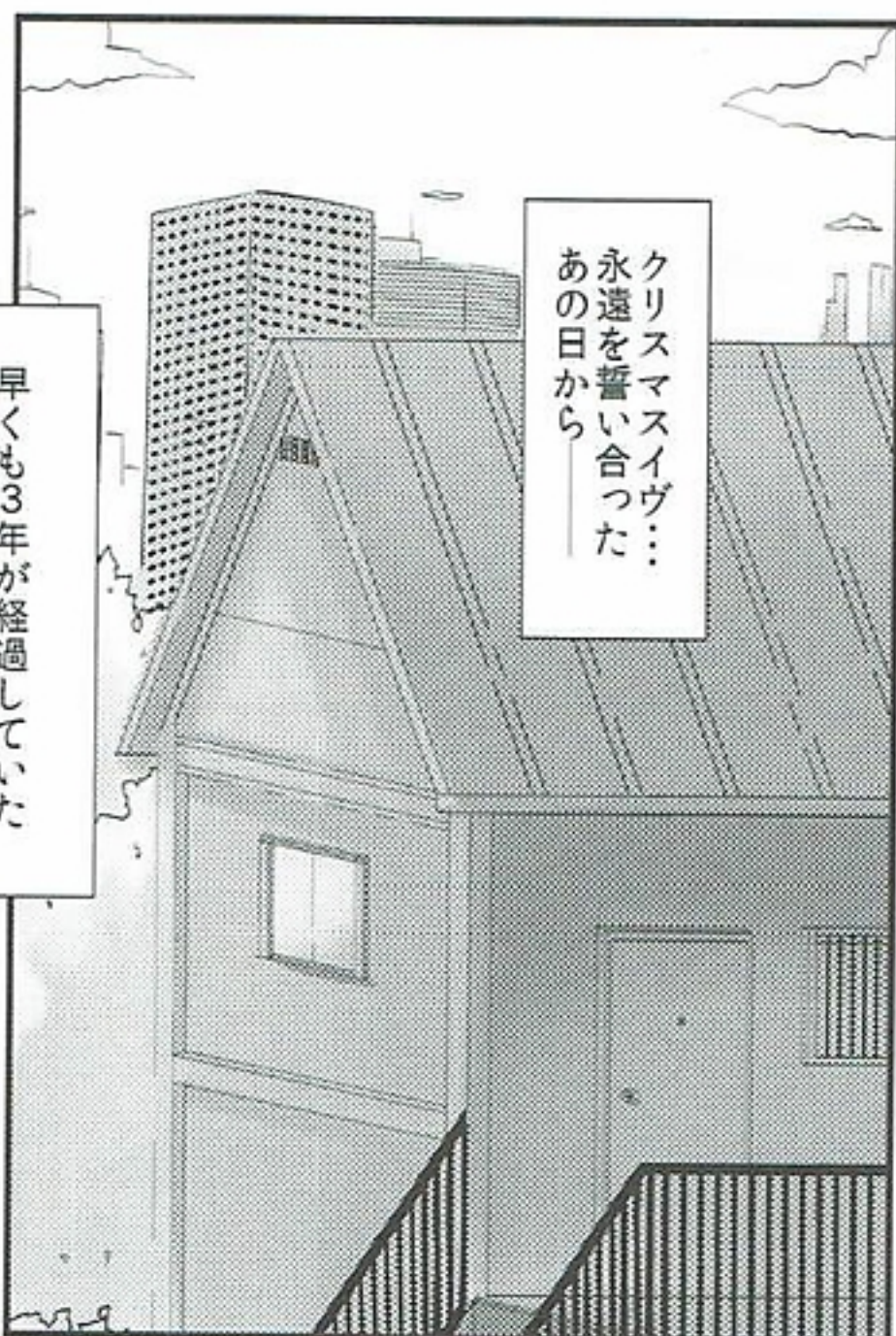
Happy-end!

18歳未満購入禁止
For Adult only

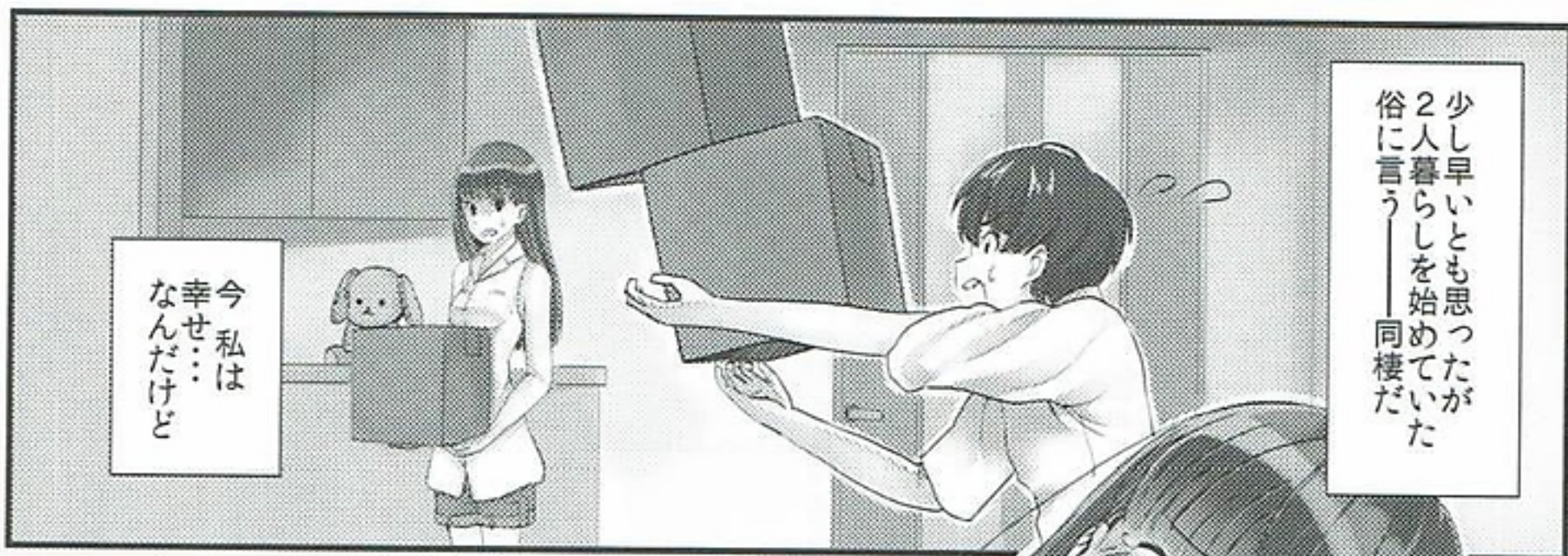


私達は というと

早くも3年が経過していた

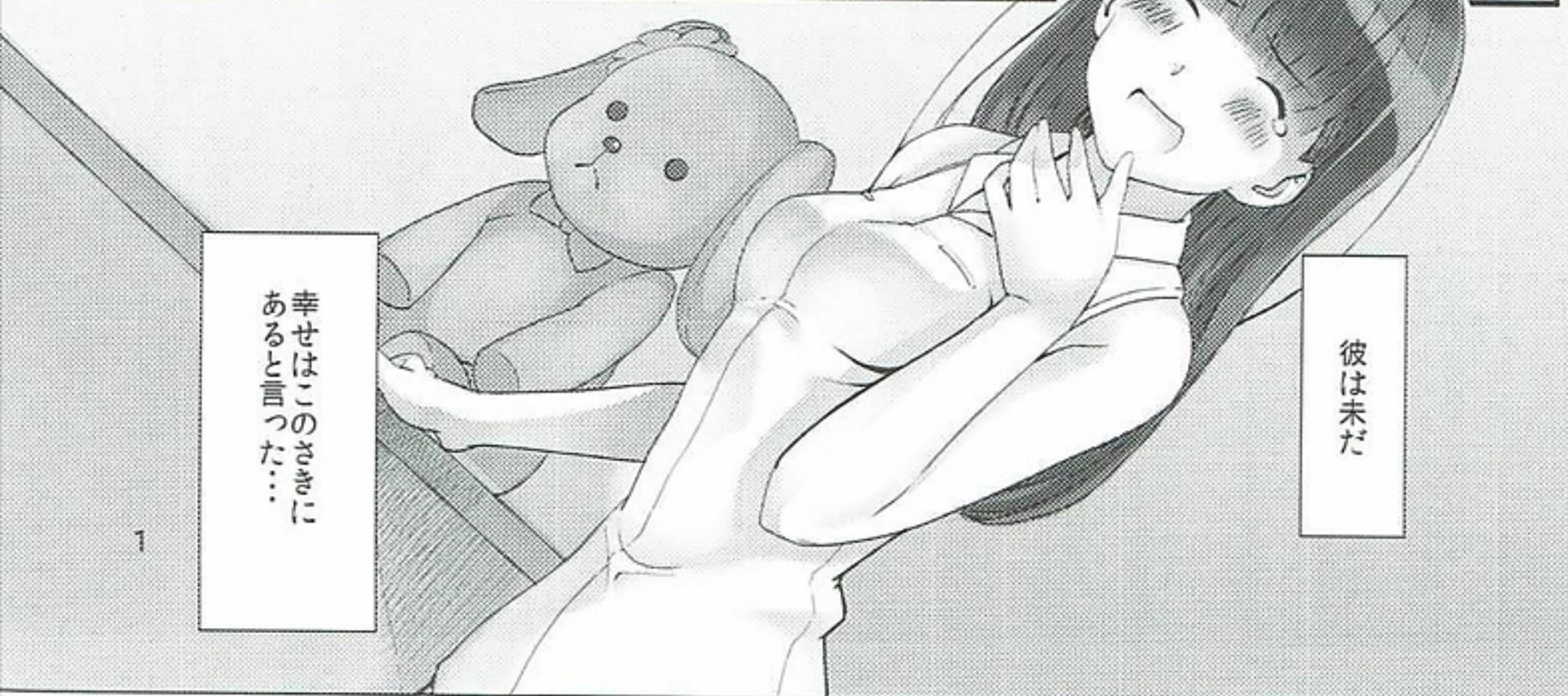


クリスマススイヴ…
永遠を誓い合った
あの日から



今私は
幸せ…
なんだけど

少し早いとも思ったが
2人暮らしを始めていた
俗に言う——同棲だ



彼は未だ

幸せはこのさきに
あると言った…



何故 君は彼女に媚薬を飲ませようとしたんだね？

そんな事しません！



で



はあああ

わかってるってば...

12月						
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

とここで！
僕らの同棲生活ルール！！



薬の説明は後ですととして...
詞に選択肢は無いはずだよ？

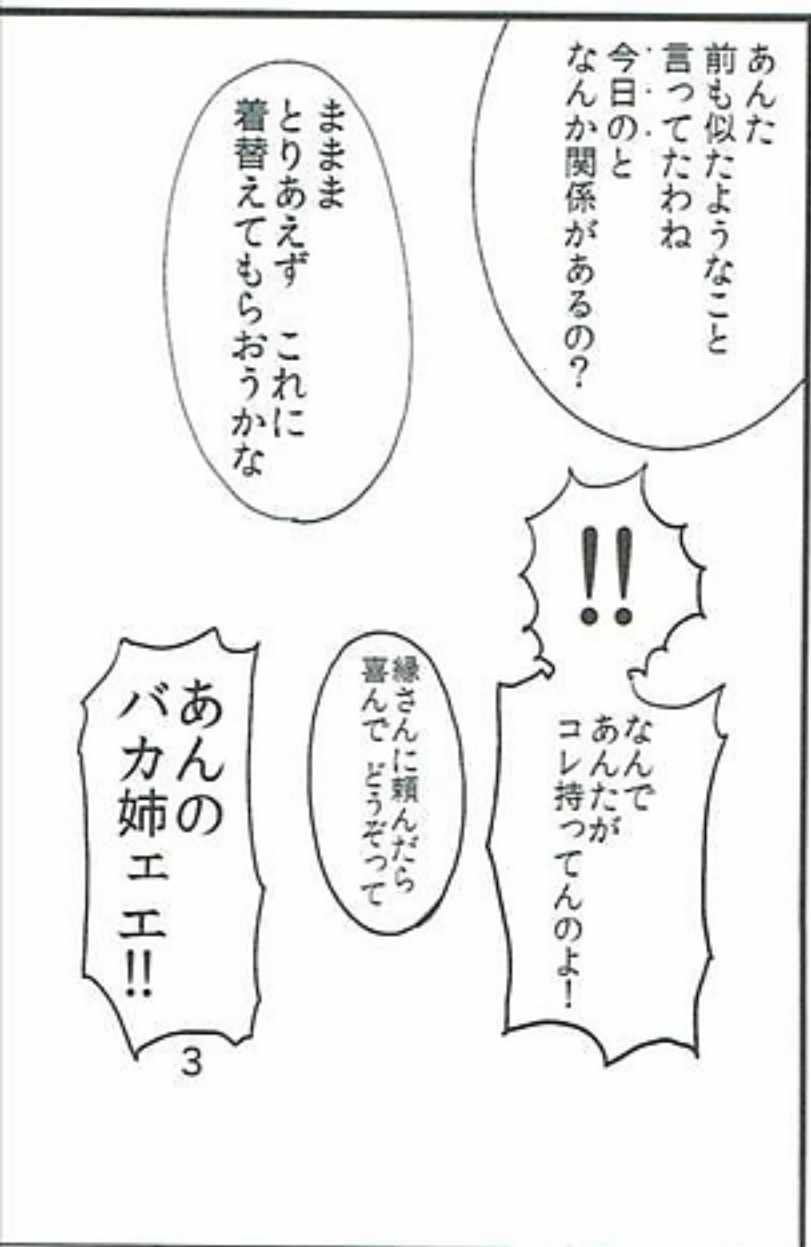
それは今日だから...



イイ
飲まっか

誕生日の人は
プレゼントの代わりに
絶対命令権を得る
その名も...
「1日奴隷権」だ！！

このルールは「自分達だけで稼げるようになるまで賢沢は避けよう」という絢辻さんの気遣いが込められている家庭円満ルールなのだ！





おお!

やっぱ
詞は美脚だから
黒ストが合うな



着たわけですけど...

何故、黒ストに...



はあ!?

あんな
そんな...言ってくれた事
無かったじゃない

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

え、そうだったっけ?
僕はいつも美脚だって
思ってたよ



...本当に?

う、うん

うわあ...顔...
緩みきつてる...
たまに言ってるあげよう

ああああああ



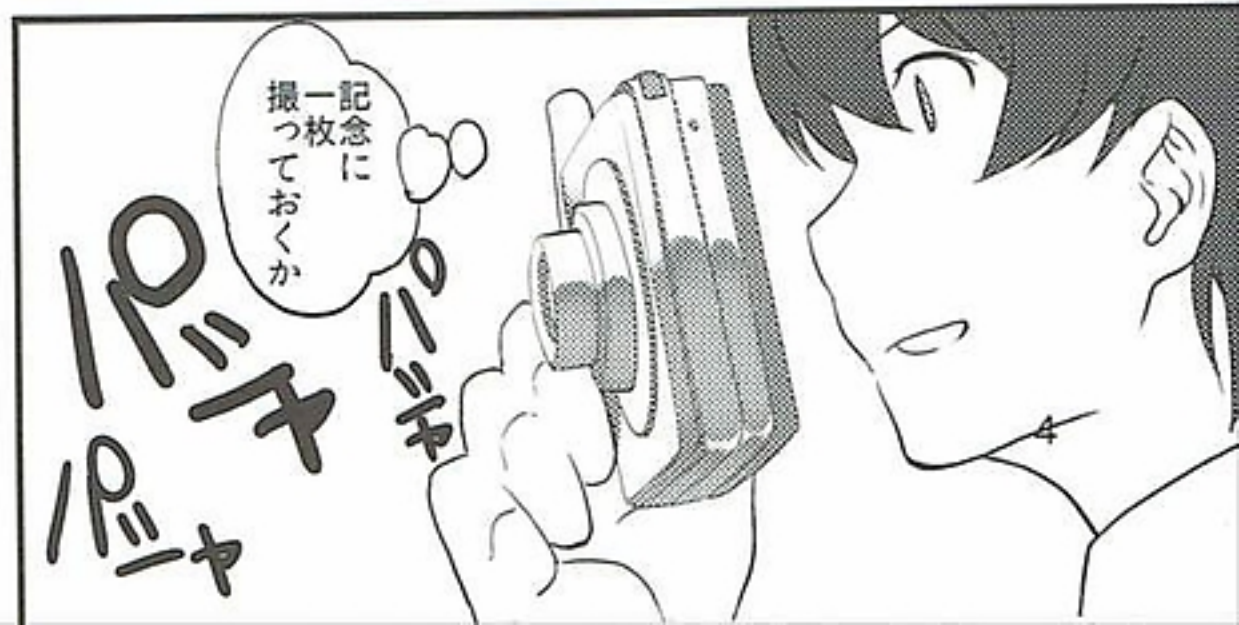
で腰を上げて...
手はここに...

うん...

うん...

よし!じゃあ次!
このポーズを...こう...
そう...で...
ここをこうして

うん...



記念に
一枚
撮っておくか

シャ
ッター
ピカッ



…ゆ

油断した…

モジ
モジ

モジ



眼神！

ねえ純一？
羞恥プレイじゃないんでしょ
さつさと始めなさいよ！

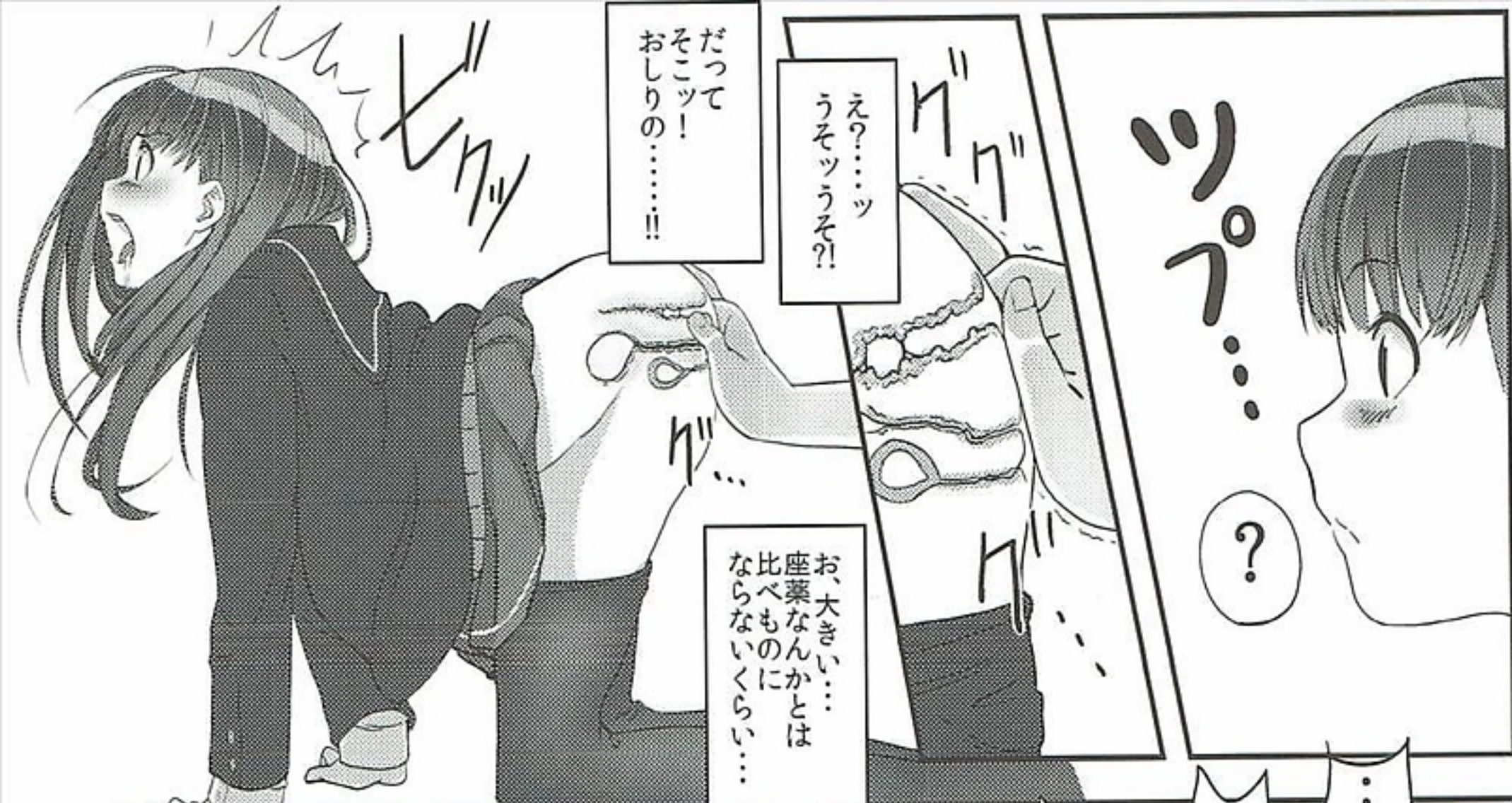
もうちよつと見てたいな
制服を着てるいるにも
関わらず大切な所だけに
丸出しの絢辻さんの姿

み…妙な言い方
してんじゃないわよ！！
はーやーく



わかった

じゃあ始めるよ



だってそこッ！おしりの……!!

え？……ッうそッうそ？!

お、大きい……座薬なんかとは比べものにならないくらい……

ツプ……?



はッ……

ふうふう……

……んッ



ビー玉だよ

!

殺菌消毒はもちろんの事ながらひと肌程度に湯煎した純一スペシャルだよ

さいてーほんと最低!!

だから安心して楽しみでしょ？これから可愛いおしりに……一体いくつ……ビー玉がはいるのか……がね!



ふう……やっと一個はいったか……

……ああんたいななにをいれたのよ……



えっ？

もちろん選択肢は無いからね

うん！
良く頑張ったね

やっぱり
優等生だった詞には
簡単すぎたかな

でも誰も思わないよね
まさか
優等生だった詞の
アナルに
14個も
ビー玉が
はいつちやうなんてさ

ツう、うる…
さっ…んっ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

まともに喋れない…
かといつて
思考も回らない…
絶妙におしりの
力のバランスを
保つので精一杯ツ…

ツ
ツ

とても
優等生の顔には
見えないね

ヘッン…タイツ

もう我慢できないんですよ？
無理しないでいいんだよ…
お風呂に行つて
手桶に出してきても

でもね…切ない詞の顔を
ずっと見せられてたら
僕も…

ビクッ
ビクッ

我慢できないよ

トッ
トッ

すぐ…出すから
お願い…詞っ!!

詞っ

そんなっ…無理矢理ツ
あたしだって
出したいの
我慢してるツ…のに

動いてるのは頭なのに
衝撃が全ておしりに
伝わる……っ



純一に
はしたないと
みられたくない……



!?
す……すこい
丁寧だ……



そもそも詞が
イヤイヤじゃなく
フェラするのなんて
!?はじめてじゃないか



情けない話だけど
すぐ……だ
出そう……だ

いつもの
詞とのギャップ
を考えただけで……



えっ……本当?!
詞がしてくれるの!
誕生日……サイコーだ……

こいつサイテーだ

んー





詞ア!!

ふむっ!?

ガッ

ずっ

が

んっ...ふうッ!!
ふ...んッん...!!

...そんなっ
口の中に...

ジュジュ

ジュジュ

っんの鼻の中にも
純一の濃い精子が
息くるしいっ...



ちゅるるるる

吸った息も...
吐いた息も...
精子の匂いになって
頭がおかしくなりそう

だめだ...もうっ...
思考なんて
回らなっ...い

出ちゃう...
もう限界...
出した...い

ジュジュ

ジュジュ



……えっ？

ぐったり



これ……

たぶん

やりすぎじゃね

びびっ
びびっ



ね寝てたのか……

あーあー



まった負けたあ!!
いつかあのヘラヘラ顔を
苦痛と後悔しか
知らないような顔に
してやるんだからあ!
覚悟しなさいくバカ姉え



縁さんかあ……

んー

んー

1週間前

制服を貸してもらったため
詞の姉である
縁さんのもとを訪ねた

おー相変わらず
ここにいるんだ
つてまた罪もなき
一匹の犬が犠牲に...

この人は本当
詞と性格が正反対
なんだよなあ...

天然過ぎるところが
たまにキズな
濃厚で美人な印象だ

縁さん

縁さん

僕は詞の部屋に
案内された

相変わらず
綺麗な部屋だなあ

橘君
紅茶でいい?

そんなっ
気を遣わないでください
すぐ帰りますのでっ

せっかく
来たんだし
ゆっくりして行ってよ

えっと
じゃあ お言葉に
甘えさせて頂きます...

うわあ...
縁さんとは
数える程しか
話したことないから
緊張するなあ

...美人だし



それでいて私は
すごい詞ちゃんの
姉…なんです…



…詞ちゃんはね

すごいんですよ…

?



それは 詞ちゃんが
後天的に得た…もの
だから…



あ！でもでも、
勉強 スポーツ 習い事
どれもが私の方
が上だったし
私はもつとすごいって
ことかな

?

あの子…何でも
出来るように見えて
結構、不器用でしょ？

あの…縁さん？
何が言いたいのか…

**ズ
ズ
ズ**

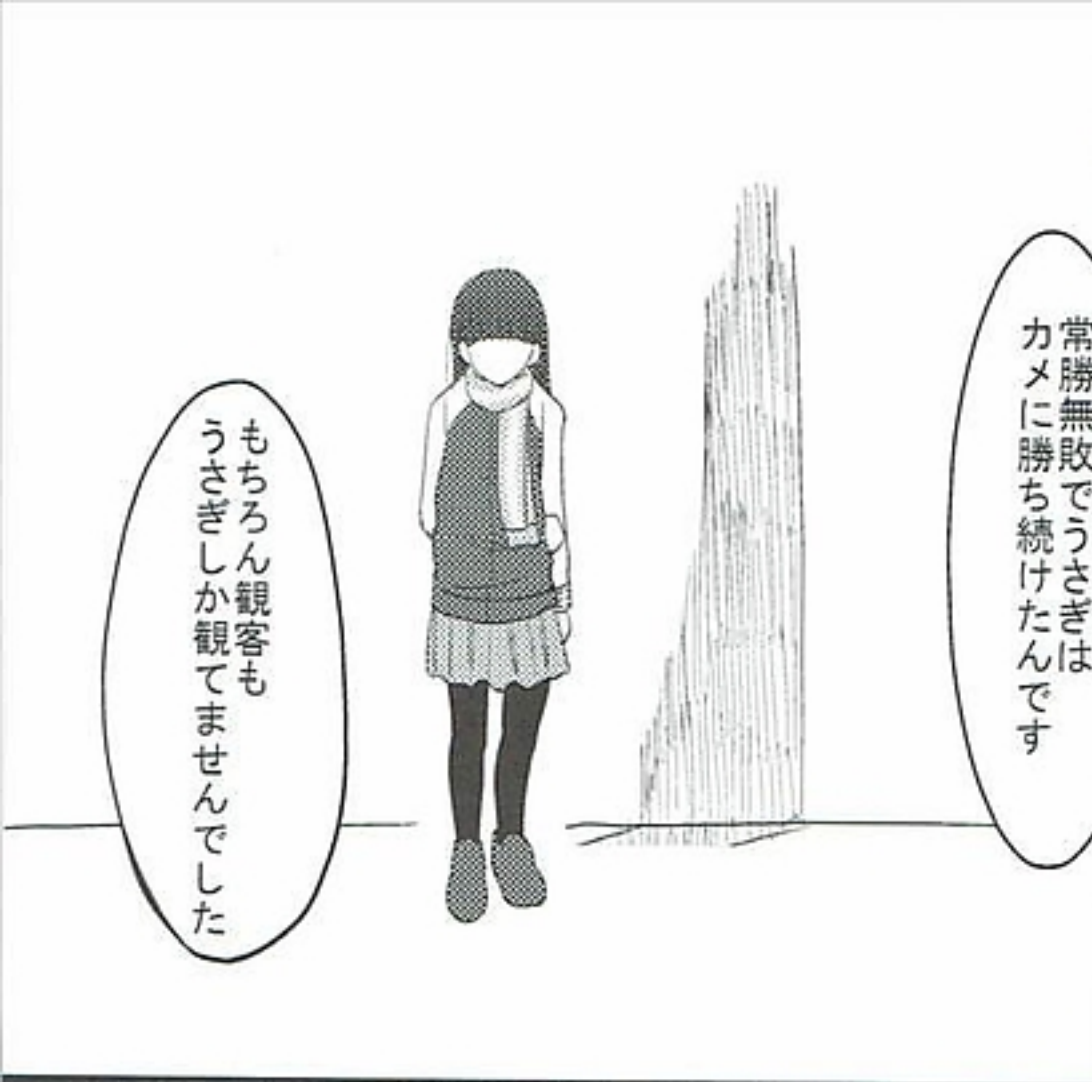
私たちの過去を…
この家の呪いを…

いいでしょう…
貴方には本当のことを
伝えましょう



縁さん…？

それは以前にも
味わったことのある
危機感だった



もちろん観客も
うさぎしか観てませんでした

常勝無敗でうさぎは
カメに勝ち続けたんです



うさぎとカメって
話ありますよね

はい？

ありますよね？

はい！！

わぁ
私はうさぎでした



…そうです

初めから
観客はカメなんて
存在自体
知らなかったんです



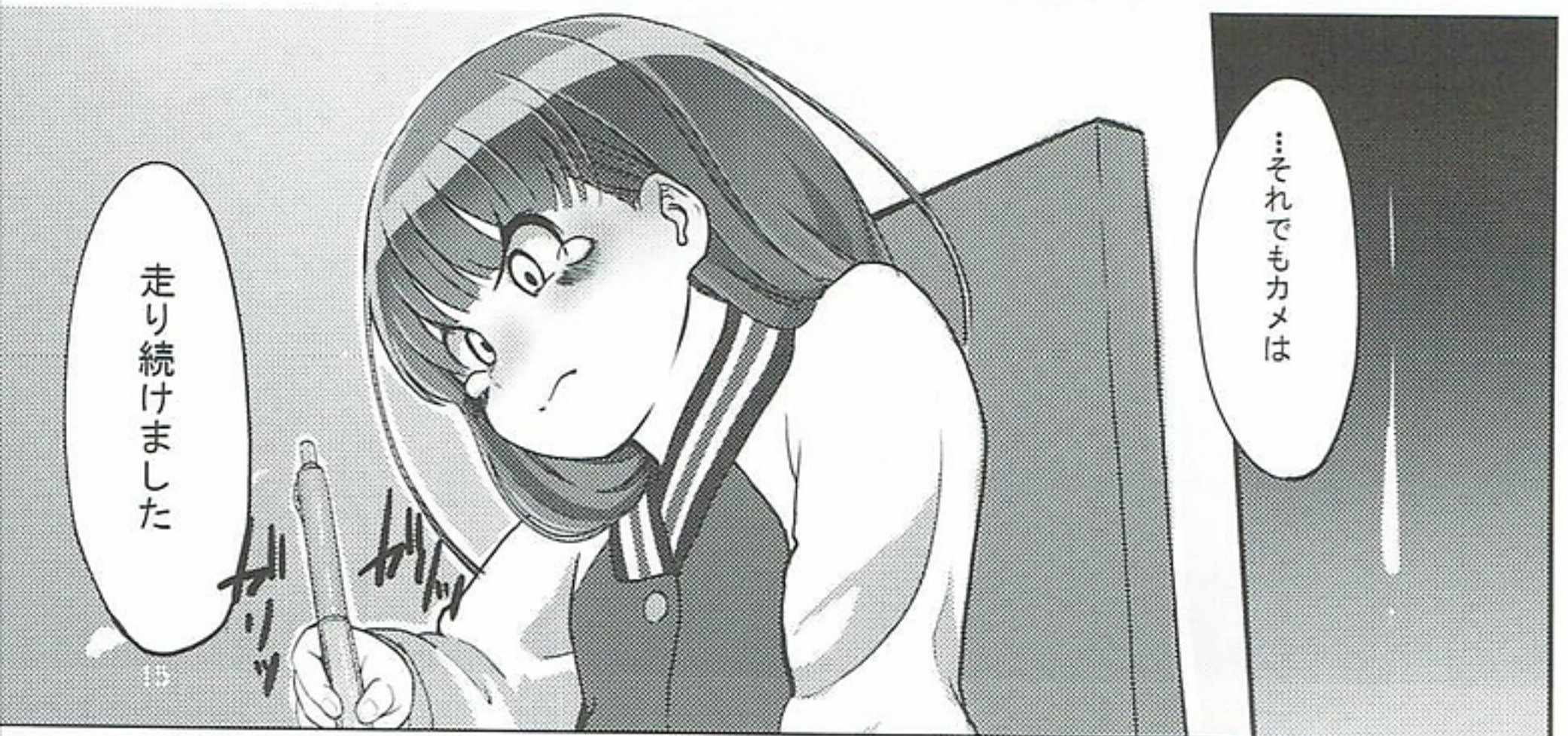
くしゃ

何故なら歴然の差が
あるにも関わらず
うさぎに勝負を
挑むものなどいないと
思っていたからです

大差で勝つのが
解っているものを
試合などとは
誰も呼ばない……

ん……

縁 絶 縁 100



走り続けました

…それでもカメは

そんな頑張り屋の
カメが 私は大好きなんです…



じゃあ どうして本人に
そう言っただけじゃないん
ですか?!



それじゃ…ずっと
この家に詞の居場所は…

そうです…



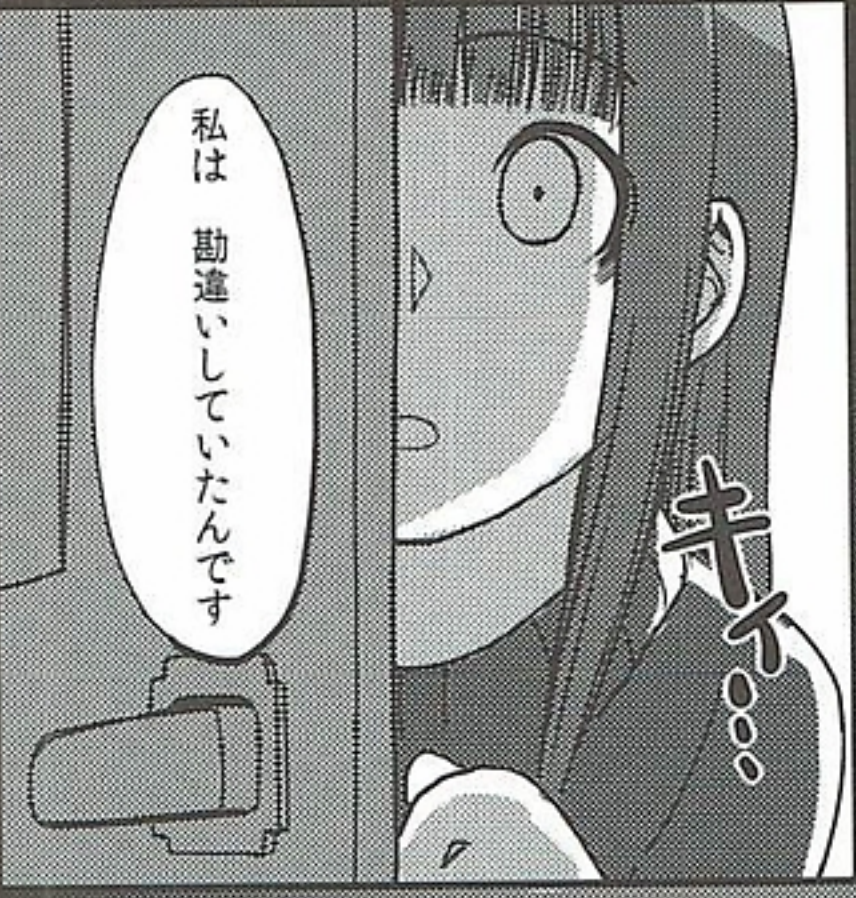
この家の仕来りは
歪なものでした

だから私だけは
わかってやれると
気持ちを共有できる

あの子の
唯一の居場所
になれると



私は 勘違いしていたんです



どんなに負けようが
いくら惨めで愚か
醜かるうが

嗚咽を漏らしながらも…
苦しくて呼吸が出来なくても
走り続けて いたんです

視えてなかった…一つも

結局あの子を
追い詰めたのは私
あの子を一番
守ろうとしていた
私自身が…

あの子から
居場所を奪ってたんです



私の両手は
何でも出来ると思ってました
妹にだって
勝ち続けることも…
追い詰めることすら…

びびるくせこ!!

そこで泣いている
大好きな妹を…

抱きしめてあげる事すら
出来なかった!!



妹の小さい肩で背負える許容なんて
とうに超えていたのに…
結局 私が出来たのは きれいごとを並べ
高言を吐くだけしか取り柄が無かったんだ!

逃げた…全てから逃げた!
自分の可愛さあまりに…
妹に全てを押し付けた…

私はあの子の前から逃げました…
だからこそあの子の居場所に
なる人が現れたら
言おうと心に決めていたんです

親の反感を買おうが
妹に嫌われる結果になるとしても
姉としてやることは
一つのはずだった…のに

この人はずっと見てたんだ…
見ているのさえ
辛いはずなのに
側にいた…居続けた…



どうか
私の大好きな妹を

幸せにしてあげてください

性格が正反対なもんかも
ここまで似ている姉妹も
他にいないぐらいだ...

この人は
正真正銘の
姉なんだ
絢辻詞

にしても...ここまで...
不器用なこととか
そっくりじゃないか

だめです
もう逃がしません

家族は過去を
許すことが
できません

側で支えあえる
のも家族です

だから

わん

詞の事を一緒に
支えていきましようよ

ねっ
義理姉さん

はっ...
それすごく
嫌ですね...
蕁麻疹でそうです...

えっ...
さっきのつて
そういうわけじゃ...

妹を傷つけたら
貴方を消すつて
いう忠告です

う...

え...っと
もし言ったら?

この世界にいられなく
してあげます

あ...ちなみに
表の世界で
私の素顔を
知ってしまったのは
貴方だけなので
他言無用ですよ?



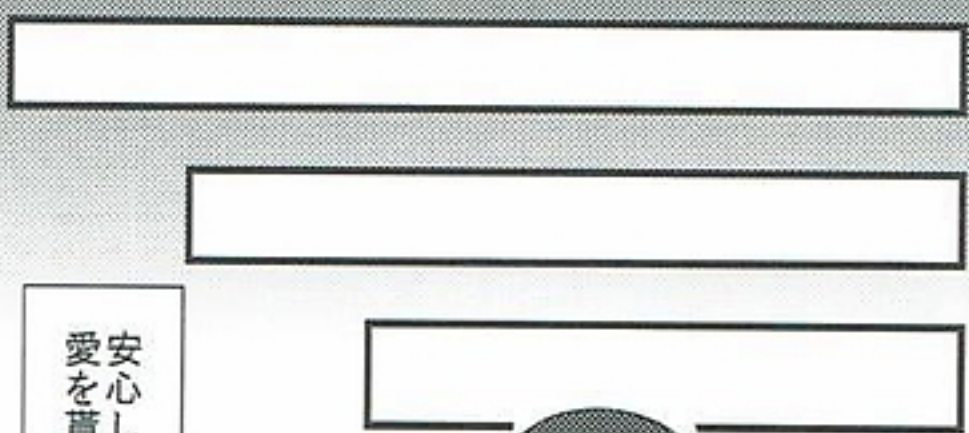
あと私も4歳若かったら...

...なーんてっ



橘純一...かあ

不思議だなあ...
本性まで晒すつもり
なかったんだけどな...変な人...



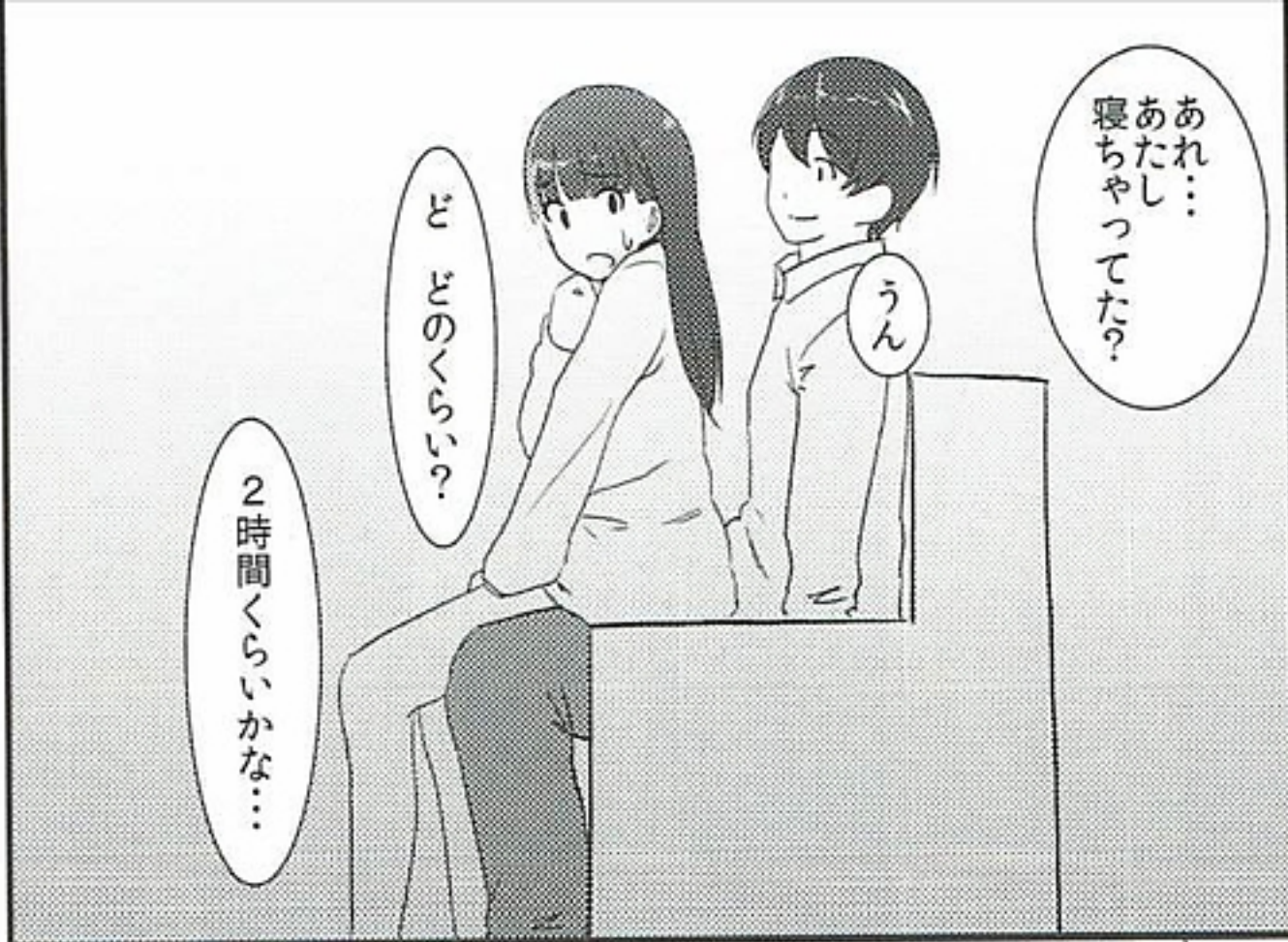
このっ幸せ者っ
幸せ者めっ

たとえそれが
どんなに歪なものでも...

安心したよ...詞も
愛を貰って育ったんだね



しかし縁さん...
何者...なんだろう
いやいや
無駄な詮索で
命を落とすそうだ
...やめておこう





ダメです!



ちよつとお
そん…な
いきなりっ…んっ



!…ん?
じゃないとどうなるの

…そんなんっ!
おトイレだけッ
トイレだけ行かせて
じゃないとあたし…

いきなりじゃないよ
2時間も詞の寝顔を
見てて…
もう我慢
出来ないんだ



ごめんね
ちよつと意地悪だったね
行ってもいいけど
一人でできる?



わかってるんで



抜くときの感覚で
出ちやうかもよ？



…だから 僕に
名案があるんだ

名案ねえ…

…って

どこがよっ!!

あたしに
人間の尊厳を捨てるの?

さわっ

うーん
じゃ解った
手伝ってあげるよ

な…なな
何すんのよっ

見るなあ…っ

やあぁッ!!

チヨロロロ

うそ…あたし本当に
人前でしちゃってる
うう…恥ずかしい…
なんで止まらないのよお

イッ…っそこ
おしっこの穴…今
触られる…とっ



うう…あたしの
人間としての
尊厳の部分が
犯されていく…

つ…つかさあ
さつきからおしりの中
ウネウネって動いてて
僕も…

で
射精する

まっ…



ドッ

もーやーだー

…待つては
くれないのよね

う…うくん
おしりの中に
出されるのって
こんな感じなんだ…

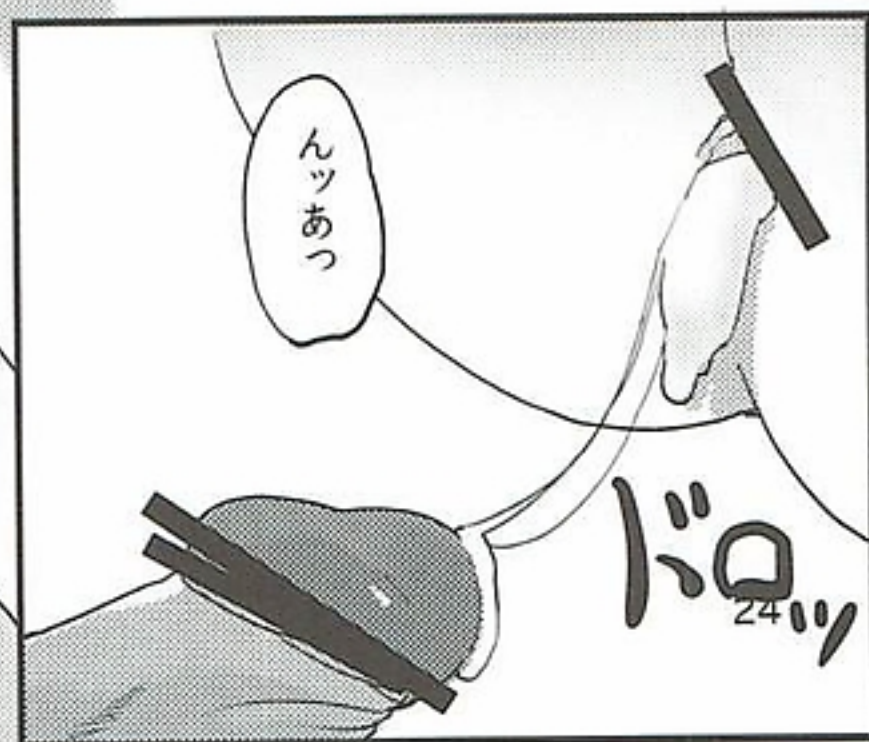


わわわ…
二時間も挿れてただけあって
アナル開きっぱなしで
精子垂れ流してるよ

はいはい
ごちそーさま
でした!

う…ごめん
機嫌悪くした?

んっあっ



ドッ
24

違うけど……

要求がエスカレート
していった場合
ついていけないのかな
って……でもあたし
あなたと別れるのは
嫌だし……

わかった……ごめん
僕が軽率だったよ



あつ……わかってな……んう
ちよつと……おへそは……



ねえ詞？

うん？

「幸せはこの先にある」
って言葉
僕なりに出した答え
聞いてくれる？

ちよつと
しゃほーね

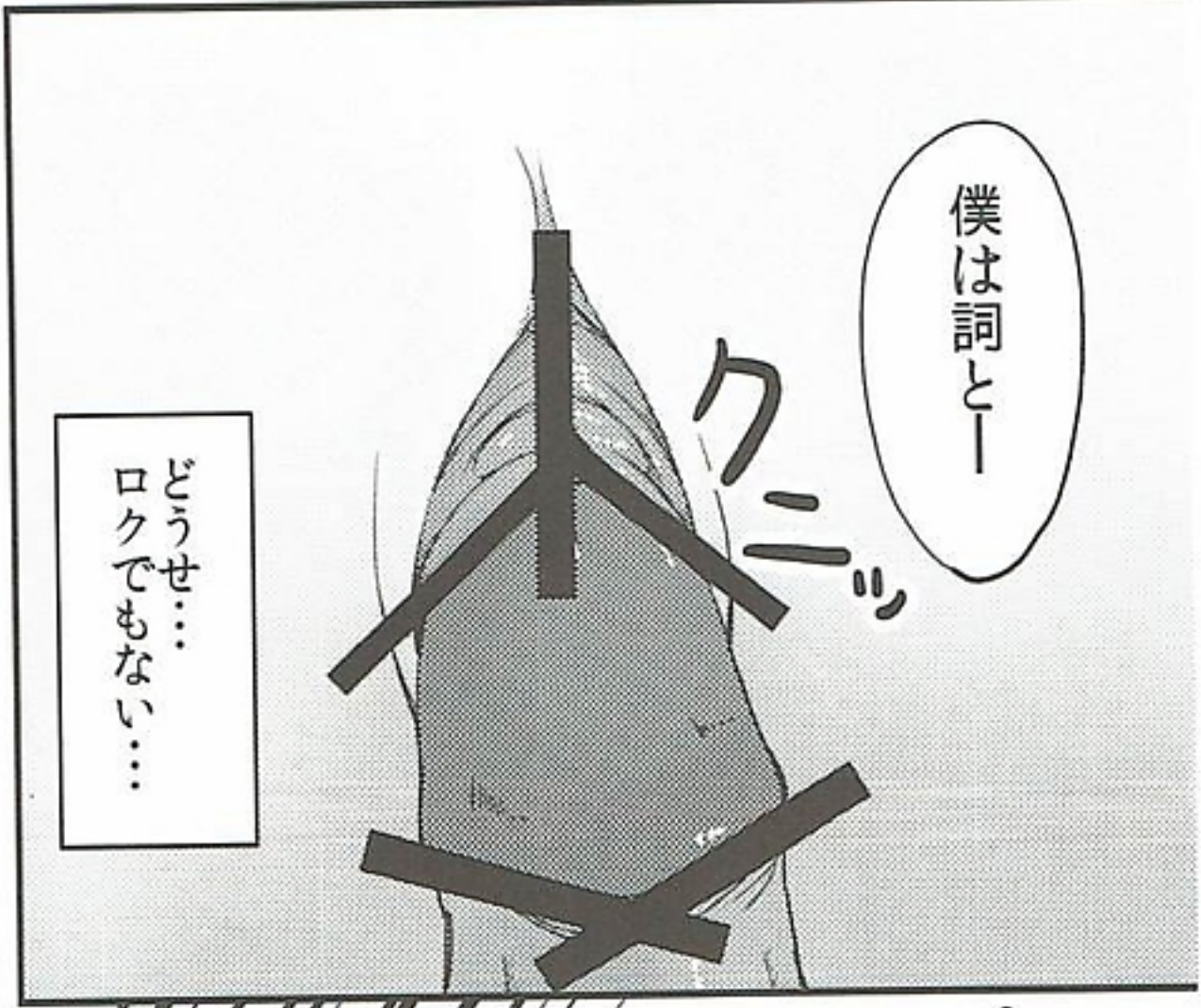
ハハハカ！！

……うん





家庭をつくりたい



僕は詞とー

どうせ…
ロクでもない…



そこにはさ
僕らの子供がいて

あーんっ
あーんっ

そこには…

ささやかだけど
幸せな家庭があつて

日曜日とかは
家族で出かけたりして



たくさん
思い出をつくるんだ

彼の言ってることが
理解できなかった

それほど
縁遠いと思っていた
言葉の数々……

それで……

それで
子供が大きくなって
家を出て行ったら

2人でさ

ああー……こんな事あったね
って……朝まで語るんだ
これが僕なりに考えた……



でも言葉を
理解するよりも
ずっと早くに……

この先の幸せ……

……

あれ……



体は反応していたー

詞？……
泣いて

違いますこれは
愛液ですっ!!

それは
おかしい!



詞…今…
イツたでしょ?

今日はトコトン
逝かせて
あげるからね

バカ…

ぐんぐん



いつもより腫が
きゆうきゆう
締め付けて…

か…解説つ…
すん…なッ…ん

あれ…また
逝きそうなの?

それ聞いて
あたしが答える
わけな…いでしょ

もー
素直じゃないんだから

ぐんぐん
ぬちゅ



ウソっ…なんか
今日おかし…ッ
乳首の感度も
臆の調子も…

逝ったばかりなのに
すぐまた逝きそうになる

彼の手 彼の声 彼の匂い
全てが あたしを刺激する

はぁあぁ

この幸せを手離したくない……
あたしはそれだけを
考えていた

いや……あたしは……
恐れていたんだ……

この幸せは有限で
いつか……あたしの手元から
離れてしまうんじゃないかって

けど……貴方は
違ったんだね……

ずっとずっと未来の幸せを
考えてくれていた……

そんな幸せな未来が
待ってるって考えただけで
今から楽しみだなあ……

貴方じゃなかったらって
考えるだけで怖い……

それだけに
今あたしは幸せだよ……

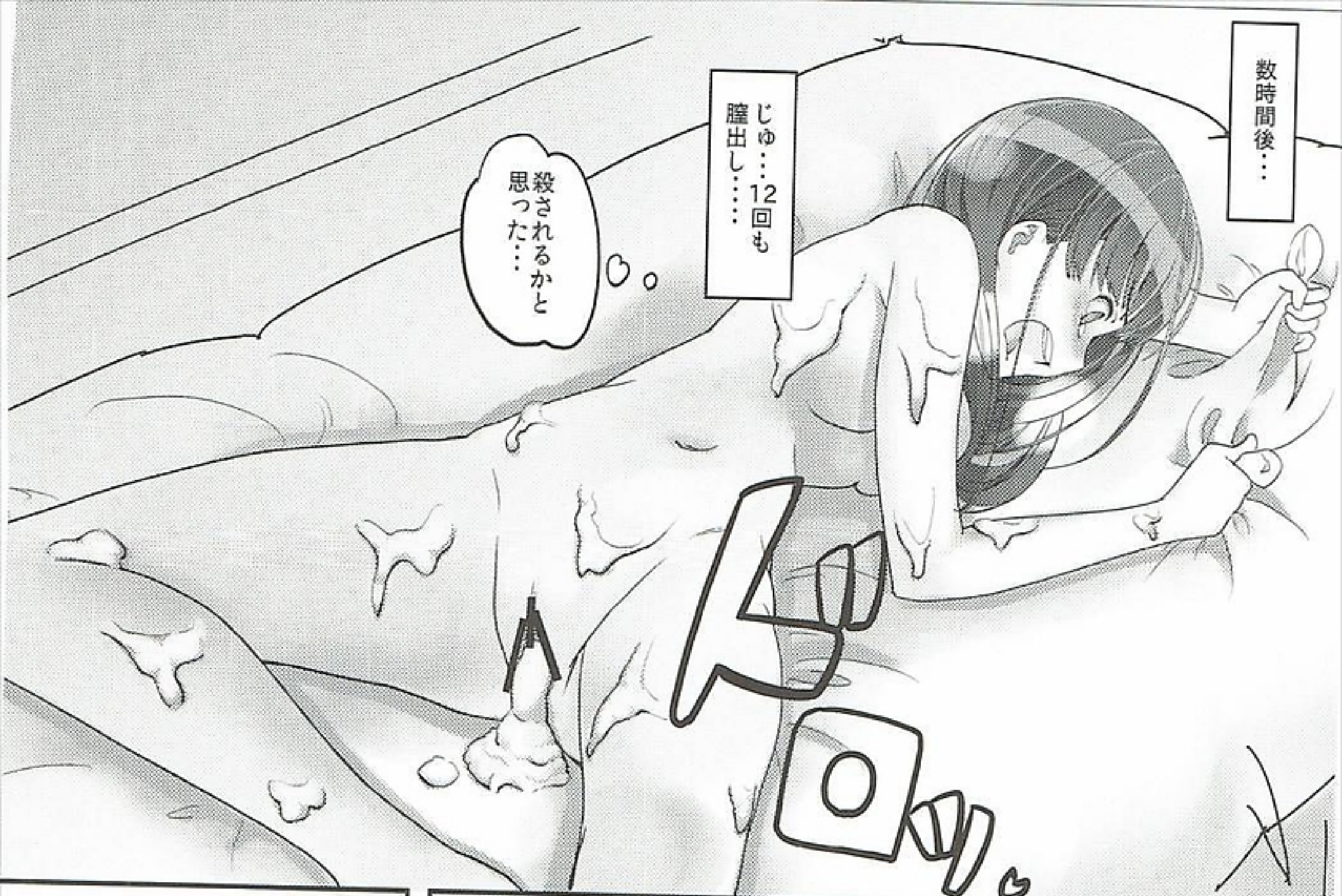


ん……

数時間後…

じゅ…12回も
臆出し…

殺されるかと
思った…



よし 0時…
「二日奴隷権」
ようやく失効よね…

拭いても 拭いても
出てくるんだけど…

あ あんたが
出したんじゃないよ
責任持って拭きなさいよ



ん?

ズツ
ズツ

えっ?

えっ…どうして
落ち着いたら急に…
…さっきしたばかりじゃない

えっ?
あっ…嘘ツ!?

どうしたの
つか…どう?

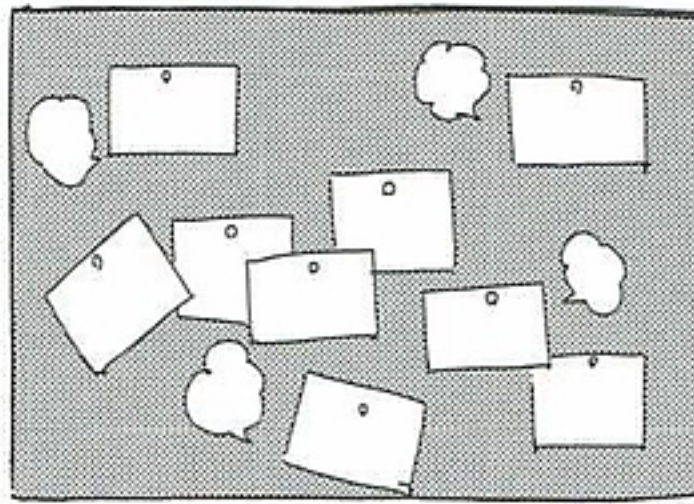




ウウマイ!!
舌に触れた瞬間ほろ苦さと
スポーツドリンクのような
爽快感 そして その
優雅なまでに甘美な味わいは
身体を満たす高揚感
喉を通った後すら この存在感!!
僕の細胞全てが求めていたかのように
祝盃をあげている
例えるならば そう
これは「天使のなみだ」!!



台つ無し
だいいなつしよお!!



あんなの
考えたの
ちよつと
感動した
あたしが
馬鹿だつた!!

…何してんの
アヤツジさん?
何その手に持った
大量の薬は……

あたしも
飲んでやるんだから!
そして教えてあげる
屈辱の二字を

もがっ

飲むって…
まさか僕の
オシッコを?

ええ そうよ
いいからさっさと
出しなさい

ウレシ…いやいや
ダメだよ 汚いから…

なんでよ
あたしのは飲んだのに…

詞のはキレイなの!

意味わかんない!

12月14日
美脚って言った
すごい喜んでくれたゾ
この調子で、僕の
黒ストコレクションを…

アトガキ

ども～santaと申します～

今回はこの本を手にとっていただき有難うございます～

いいいいかがでしたでしょうか？何度か漫画は発行させてもらっていたんですが今回は、初の二次創作！18歳以上を対象とした肉欲番外地
兎にも角にも、、、初めて悪連鎖症状が出るのは目に見えていたんですが・・・これほど難しいとは・・・自分に嘘をつかず！恥ずべき之、恥ずれば～の精神で挑んだ今回の本！拙い表現でお見苦しい点などあったと思いますが、それだけに初初しさが伝わってくだされば、今回はこちらの満願成就とするところであります！

体よく終わらせたところで、個人的意見～

絢辻さんかわいいい！

そして僕が理想とする絢辻さんはシリアイ→ナカヨシENDが最強だと思っています！

この結果はデレの比率に左右されました・・・言うなれば・・・

スキルートは8：2の割合でデレます（もちろん8がデレです）

これに対しナカヨシルートは6：4の割合でデレます（こちら6がデレ）

一見するとスキルートの方がブヒれるのではないんですか？

ええ、もちろんその通りです・・・

それでも僕がナカヨシルートを推したいのは・・・なんといってもバランスの良さ！

スキルートは主人公に惚れてしまったため、絢辻さんに一つの弱点が出来・・・皆から・・・

あ～だめなんです、こうゆう可哀想な展開、、、確かに守ってあげたいとかの感情が湧いてくるんですが・・・絢辻さん本人が破滅に向かっている様な気がしてしまって・・・

それに比べ、ナカヨシルートだと絢辻さんは器量よくクールにそして優雅に
他を圧倒します・・・圧倒します・・・そのさま、正に天下無双でした...

未プレイの方もいるかもしれないので内容については抑えましたが
一つだけ一つだけ言わせてください

エビコレ版のシーン再生49/54（背景：教室）

.....これ最強です!!!!!!身悶え必至でした!!!

皆、一度はこのシーンを再生したと思われませんが、
まだ未再生の方、是非！必見ですぞ！

というわけで、まだまだ飽きさせないアマガミです、
2012年にはアマガミSS二期も放送決定らしく、
またアマガミストの皆様や初見の皆様、思春期真っ只中の男子の皆様を
存分に賑わせてほしいと心から願っています！

最後に...

この本作成にあたって手伝ってくれた友人と
ここまで、読んでくださったあなたに感謝します！

はっぴいえんど

2011年 12月 31日 初版発行（コミックマーケット81）

著者 **santa** ©santa 2011

発行 **乱視と君と**

URL : <http://wagwagsanta.web.fc2.com/index.htm>

Mail : wagwagsanta@yahoo.co.jp

印刷・製本

株式会社 栄光

※本書のすべてまたは一部を無断複写することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。
※この物語はフィクションであり、実在する人物・団体等とは一切関係ありません。

